



2022 もてぎ Joy 耐チャレンジ

2022年5月6日
競技長

●決勝

1. スタートは、ローリングスタートです。別紙スタート図の通り配列します。グリッド上での給油は禁止です。
2. グリッドへの移動については、自走にてコースインし西コースを1周して指定されたグリッドについてください。
(グリッドにつけなかった車両はピットスタートとなります)
3. 「1分前」ボード表示の後、車両の異常でスタートできなくなったドライバーは手を上げて合図をしてください。グリッドマーシャルが後方の車両へ黄旗で合図します。全車スタート後、マーシャルによって車両を押し上げることができます。この場合、走行グループの最後尾に合流してください。
4. ローリングラップ中、明らかに問題をかかえて走行している車両を除き追い越しは禁止です。また、何らかの理由によりスタートが出遅れたり、隊列についていけない車両は、後続に合図をしてからラインを外してください。この場合、元のポジションに戻ることはできません。
5. 隊列が整いスタート可能な状態になった場合は、17番ポスト付近のコース両サイドに「GRID」ボードが提示されます。この地点でドライバーは自車の位置を確認してください。先導車両はピットロードからコースアウトします。その後は、先頭車両がペースメーカーとなり、加速することなく隊列を整えてスタートラインに向かってください。
6. レースのスタート合図は、スタートシグナルのレッドライトがグリーンライトに変わった時点となります。(日章旗も併用します。) ただし、自車がスタートラインを超えるまで追い越しが禁止されます。
7. 反則スタートおよびその他の違反に対するペナルティとして、以下のペナルティが課される場合があります。

◆ドライビングスルーペナルティ

フラッグ台(メインポスト)で、D + 競技番号ボード(黒ベースに黄のD字)が提示されます。該当車両は3周以内にピットインし、自己のピットに停止することなくピット出口からコースに復帰してください。状況により同時に複数の車両に提示する場合があります。

◆ペナルティストップ

フラッグ台(メインポスト)で、P + 競技番号ボード(黒ベースに赤のP字)が提示されます。該当車両は3周以内にピットインし、ペナルティストップエリアにて停止後、少なくともタイムペナルティとして課せられた時間を停止し、レースに復帰してください。

8. 給油エリアは、全車スタートライン通過後からオープンします。万一、給油エリア入口を通り過ぎてしまった場合は、コースをもう一周していただくことになります。給油エリアはバスコントロールされています。入場の際は必ずパスをご提示ください。給油エリアからピットレーンに進入する際は、表示に従い必ず一時停止をしてください。
9. 青旗は後方から速い車両が追い越しをしようとしている合図です。(青旗を振られたら後方を確認し、早い機会に追い越させてください)
10. セーフティカー(以下SC)介入の必要があればレース中先頭車両の走行地点にかかわらず、ただちにコースに介入します。競技車両はSCの後方に車間距離を詰めて一列に整列して走行してください。合図の補助として黄色点滅の信号灯を表示します。SCがピットロードに入り再スタートする場合、各車両はスタートラインを通過するまで追い越しは禁止です。
(国際モータースポーツ規則のH項セーフティカールールに従ってください)
11. レース中、先行車両はストレート部分での後続車の進路をブロックする目的での進路変更は禁止します。また、コーナーでの異常な進路変更を伴って判定されたブロックはペナルティの対象となります。
12. 何らかの理由により車両からオイル漏れがあった場合、できるだけ早くコースから外れグリーン上に車両を停止させてください。従わない場合はペナルティの対象となります。
13. ピットおよびコース上での押し上げによるエンジン始動は禁止します。
14. コース脇の4箇所の「FIRE STATION」看板は十分な消火活動(消火車両・消火要員待機)が可能な場所です。
15. 赤旗が出てレース中断となった場合はコース上およびピットロード上の赤旗ラインに停止してください。
ただし、レース距離75%以上の場合(135分経過後)は、パークフェルメに向かいオフィシャルの指示に従ってください。
16. 赤旗およびセーフティカー導入時にドクターカーとETカーがコースインする場合がありますので注意してください。
17. 天候状況により、フラッグ台で「LIGHT ON」のボードが提示される場合があります。提示された場合はライトを点灯してください。
18. 決勝レース中にコースコンディションおよびドライビングマナー確認のため、オフィシャルカー(CIVIC TypeR 白色)がコース内に介入して走行する場合があります。
19. 本コース上およびピットレーン上にコントロールラインがあり、自走でコントロールラインを通過した車両が順位の認定を受けられます。ただし、コース上でチェッカーを受ける車両の当該最終ラップタイムは5分以内を原則とします。5分を超過した場合、スロー走行と判断し順位認定されない場合があります。ピットレーン上のチェッカーに関してラップタイム制限時間はありません。
20. チェッカー後、先頭車両の前にオフィシャルカーが4コーナー先からコースインします。オフィシャルカーに続き全車フルコースを1周し、最終コーナーから本コースに進んでください。
21. 車両保管解除後、公道車検を実施します。公道車検を受ける準備をして、車検場までお越しください。(特別規則 第33条)

以上